

あまぬま

育成委員会だより

令和7年
(2025)
10月15日
第90号

天沼青少年育成委員会
発行責任者
五十嵐 恵子
印刷：タイヨー美術印刷株式会社



小学生の部 高学年 優勝 杉九少年野球部



小学生の部 高学年 準優勝 天沼少年野球クラブ



小学生の部 低学年 優勝 杉九少年野球部



小学生の部 低学年 準優勝 天沼少年野球クラブ



中学生の部 優勝 日大二中 B



中学生の部 準優勝 日大二中 A



天沼中・東原中合同チーム



東京防犯協会連合会からトロフィーや飲み物などを、山崎製パン株式会社からパンをご提供いただきました。ありがとうございました。



第45回 天沼地域少年野球大会 日本大学第二学園グラウンド 7月26日(土)



円陣にミストで暑さ対策



今年も6月から記録的な空梅雨、猛暑に見舞われ、炎天下のグラウンドでの試合は選手・審判共に過酷なものでした。結果は全試合合計4本のホームランが出る活気あり盛上がる大会となりました。

中学生ボランティアとして、日大二中野球部マネージャー2名と東原中学校から1名が大会運営を手伝ってくれました。マネージャーのアナウンスは流暢でさすがの進行でした。東原中ボランティアの生徒は第一試合、中学校のアナウンス進行を担当しましたが、選手紹介や交代アナウンスなどスムーズで野球をよく知っているという印象でした。

第二試合では小学校高学年の部を担当しましたが、小学生の選手が初めは1人、駆け寄り直立不動で挨拶をしてきたと思ったら、バタバタと選手が駆け寄り大きな声で挨拶をしていきました。ボランティアの生徒はOBだったのです。チームに愛され、尊敬される先輩だったのだと思うられるシーンでした。個人的には、この出来事が一番でした。(笑)

最後になりましたが、日本大学第二学園長島理事長はじめ、各校校長先生、町会、地域の皆様、暑い中応援ありがとうございました。(成田 佳江)



ホームランを打ちました

ボランティア育成



中学生ボランティア

が司会進行や試合アナウ

ンスなどを担当しました。



記念のボールです

すぎクラブ みんなの夏休み！ ～かがやけ！6人組大作戦～

7月26日(土)、毎年恒例の人気のイベントを開催。今年も6人組の8チームに分かれて、いろいろなミッションにチャレンジしました。

午前中の「水遊びタイム」では、みんな一緒にびしょ濡れになってチームの仲も深まり、涼しく遊ぶことができました。午後は「DIYクラフト<モーターやレジン、レザー、木工>といった普段とは一味違った工作」に挑戦。難しい工程は高学年が低学年をサポートしながら、みんなで協力し一緒に完成できたことでチームワークがさらに深まりました。

最終ミッションの「ゲームラリー」では、地域の方や保護者の方にもご協力いただき、8つのゲームにチャレンジ。力を合わせてゲームを達成する度に、たくさんの温かい拍手をもらい、どのチームも嬉しそうにしている姿が印象的でした。最後はみんなで記念撮影。6人組の真夏のチャレンジは大成功で幕を閉じました！！

地域の方や保護者の方に見守られながら、一日を通してチームの仲間と一緒にミッションにチャレンジした子どもたち。夏休みの素敵な思い出になったことと感じます。

(クラブ長 加藤 崇)





第17回 小・中学生のためのボウリング教室



恒例行事の春休みボウリング教室を3月31日(月)、午前中に荻窪ボウルで行いました。天沼小14名、杉九小4名、天沼中2名の計20名の子ども達と育成委員7名の参加です。「昨年、参加してとても楽しかったからまた来たよ」と言う子「初めてで緊張するけど楽しみだ」との声も聞かれ、それぞれが期待に満ちた面持ちでのスタートです。

3名ずつのグループに分かれ、ボウリングシューズに履き替えた後、荻窪ボウルの望月プロから基本のマナーと投球フォームなどを教えて頂き、イメージトレーニング終了後に自分に合った重さのボール選別に真剣な眼差しでした。

練習時間に何度もガーターを出した子も、望月プロや委員のアドバイスを受け止め、ピンが倒れて結果が出た時の笑顔はどの子も輝いていました。

「今年は受験勉強だったから、ストレス発散になりました!!」と例えガーターでも投げるたびに、ピョンピョン飛び跳ねながらの愛くるしい笑顔も忘れられません。

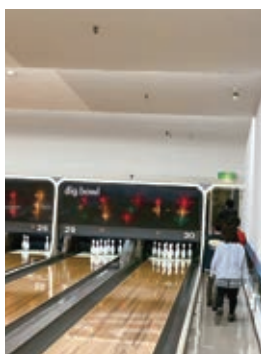


初参加の男子が、「重たいボールがどうやって戻って来るのか」と望月プロに質問すると、「ベルトの回転する間で押し上げられるから」と答えて頂き、最後にピンの裏側の仕組みまで順番に見せてもらったので、納得した様子でした。

ガーターの続いた男子が、3ゲーム終わる頃には、ストライク3つ続けたターキーを出したり、友達と比べながらも、お互いに励まし合う姿も見られ、とても有意義な楽しい時間になったようでした。

「失敗しても諦めなければいいよね」と感想を話してくれたり、最後の表彰発表では照れながらも嬉しさを隠しきれない様子も見られました。

お持ち帰りのお土産を手に、大満足の笑顔と元気な挨拶をしてくれ、委員にはさらなるお土産に思えたイベントでした。
(春日 敬子)



地域の中の東原中学校



杉並区立東原中学校

校長 鳥居 夕子

令和7年4月1日付で杉並区立東原中学校の校長に着任しました鳥居夕子です。育成委員会の皆様には、日頃から地域の子供たちの健全育成のためご尽力いただき、大変感謝しております。

7月には天沼地域少年野球大会を観戦させていただき、早朝より地域の子供たちの活躍の場をつくりあげる皆さんの姿に接することができました。改めて、天沼地域の皆さんの子供たちを思う気持ちの温かさを実感しました。強い日差しの中、点差が離れていくゲームであってもあきらめることなく、試合終了まで白球を追っていた子供たちの姿、とても清々しいものでした。彼らの夏の日の思い出は、天沼地域の皆さんからのかけがえのないプレゼントとなりました。学校を代表して改めて御礼申し上げます。

近年の少子化には、なかなか歯止めがかかりません。少子化自体を私たち個人が止めることはできません。それでは未来の社会を考えたときに何ができるのか。それは今日の前にいる子供たち一人一人を慈しみ、その成長を支え、促していくことだと私は考えています。今生きている子供たちが「充実した毎日」を送ることは、彼らのその後の人生に、そして未来の社会に必ず良い影響を与えてくれるはずです。私が考える「充実した毎日」とは「早寝・早起き・朝ごはん」のような基本的な生活習慣が保証されていること。その上で学校では新しい知識を得たり、仲間と語りあったり、笑ったり、悩んだりする。そして何より、そうした子供たちを様々な立場の大人が見守り、時に導いてくれる毎日が子供たちの「充実した日々」を保障するものだと思います。

本校に着任して半年になりましたが、この地域にはそうした大人たちがたくさんいることを知りました。学校だけでは力不足です。是非これからも皆様のご協力をお願いします。

初動がチャンス

有害環境パトロール

令和7年7月14日(月)夕方、各学校が夏休みに入る直前に、荻窪警察署少年係の方と委員5人で荻窪駅北口をぶらっとゆくりと約1時間ほどパトロールしました。今回はこれまでに入店していない店舗にも伺ってみました。

コンビニエンスストア、ゲームセンター、カラオケボックス、ネットカフェなど。毎回同じような経路を辿っても店替えなどもあり、街並みにも変化がありました。そんな中、午後6時を過ぎるとゲームセンターなどは小中学生の入店は制限されます。ここに太鼓の達人に熱狂する小学校高学年の児童が。児童本人と保護者は入店時間制限があることは知らなかったらしく、(教育的な配慮が主軸となりますので)指導と助言があり、帰路についたことと思います。そのやり取りを知る機会になりました。少年係の方は児童の名前や住所、そして自宅や親の携帯電話番号を聞き、親と連絡を取り、事の次第を告げる。その時の態度や受け答えや情報の正確さなど正直に素直に聞き入れたことを確認されていたようです。「大事なのは初動の毅然さ」ダメなものは駄目であるときちゃんと理解を促すことである。なぜなら、知識を得ることによって意識されます。意識さえすれば行動につながることであります。たまたま見つかったかと思われたかも知れませんが、そんな一人を作ることが防犯活動の一助になると!!

(土屋 賢祐)



とうもろこし収穫体験中止

7月12日(出)に予定していた収穫体験は、志村農園さんより「とうもろこしの過熱が見受けられるようになりました。原因は水不足と暑さです。症状として皮がシワシワになる、皮を剥いた時に粒が茶色く変色しているという現象で、とうもろこし収穫はきびしいです。」と連絡があり、中止いたしました。



令和7年度 今後の事業予定

たのしさバクハツ!天沼まつり	10月13日(月祝)
すぎくラブ秋祭り	11月22日(出)
大根収穫体験	12月中旬頃
お箸の知育教室	R8.1月18日(日)
ボウリング教室	R8.3月30日(月)

天沼青少年育成委員会構成メンバー (令和7年度 42名)

保護司	1名
民生児童委員	2名
主任児童委員	1名
青少年委員	2名
地域協力者	19名
杉並第九小学校	2名
天沼小学校	3名
天沼中学校	2名
東原中学校	2名
日本大学第二中学校 校長	1名
日本大学第二高等学校 校長	1名
日本大学第二学園 (理事長・総務)	3名
天沼児童館 館長	1名
すぎくラブ クラブ長	1名
子ども子育てプラザ天沼 所長	1名
子ども子育てプラザ下井草 所長	1名

天沼青少年育成委員会では、地域の子どもたちと一緒に過ごす各行事のお手伝いをしてくださる方を募集しています。お近くの育成委員までご連絡ください。

当育成委員会のホームページがあります。こちらからご覧ください。➡

編集担当：佐藤・広瀬・成田

